



森の幼稚園へようこそ
港区立白金台幼稚園

6月園だより

平成30年5月29日
園長 新井 智子

〒108-0071
港区白金台
3-7-1
(3443) 5666



<http://shirokanedai-kg.minato-tky.ed.jp/>



光をきらきら浴びて
緑の園庭で遊ぶ4・5歳児



苗や花に水やりする3歳児



さりげない振る舞いに

園長 新井 智子

森の緑が色濃くなり、初夏を思わせるような気候になりました。子どもたちは、汗ばんだ額をぬぐいながら、ダンゴ虫探しに夢中になったり、カエルを池に放し泳ぐ様子を眺めたりしてこの時期ならではの自然を楽しんでいます。森や園庭で、子どもたちは好奇心と探究心を掻き立て、関わりながら、科学や生物への思いを膨らませています。

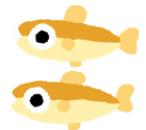
さて、巷ではメジャーリーグで活躍している二刀流の大谷選手の話が尽きません。ホームラン数や勝利数に関心が集まりがちになりますが、アメリカでの大谷選手の評価は、実は、違うところにもあります。ベース近くに落ちているごみをさりげなく拾ったり、違う選手にカメラを向けているときはそっと場所を移動したりと、人間性に感心する声が多いようです。実に日本人らしい振る舞いという評価のようです。私も、人柄プラス学校教育の良さも少なからずあるのではと、密かに思っています。日本の教育の中で大切にしている道徳観や公共性は、幼稚園においても「みんなを使う場は、きれいにする」「次の人のために整える」「周囲に気を配る」などの姿で、生活の中で身に付けてほしいと願い、指導をしています。

今、年長組が当番活動を行っています。前年度の年長児から引き継ぎ、砂場周りや外階段を掃除したり、ウサギの世話をしたりしています。また、当番だけではなく、その時々で、集会で使った年少児の椅子を片付けたり、砂場で出しっぱなしになっている遊具を片付けたりしています。教師が声をかけなくても、落とし物をそっと届けてあげる子どもの姿を見ると、温かな気持ちになり嬉しいものです。子どもたちが、「仕事」としての意識ではなく、人のためにさりげなく日常の振る舞いとして動く姿につながることを願いつつ、私たち大人も心がけていきたいと改めて思います。

<今月の指導のねらい>

3歳児

- 所持品の始末や着替え、遊んだ後の片付けなど、幼稚園の生活に必要なことが分かり、教師に見守られながら自分でしようとする。
- 自分が好きなことや楽しそうな場所を見つけて、教師や友達と遊ぶことを楽しむ。
- のりやはさみを使った製作や新しいダンスなど、いろいろな活動に参加して楽しむ。



4歳児

- 友達と一緒に関わる中で、自分の思いや考えを動きや言葉で表していくことを楽しむ。
- みんなで取り組む活動に喜んで参加し、友達と同じ動きをしたり触れ合ったりしながら遊ぶことを楽しむ。
- 身近な自然物に触れて遊ぶことを楽しんだり、栽培物の成長に関心をもち、世話をしたりする。

5歳児

- イメージを出し合いながら、友達と一緒に遊びを進めていく楽しさを味わう。
- 共通の目的に向かって、学級の友達と一緒に取り組み、できた喜びを感じる。
- 園内の自然物を遊びに取り入れたり、世話をする中で栽培物の生長や変化に気付いたりする。